

報 ずずらの里

2008年 10月号 No. 91

発行者

〒869-5161
八代市葭牟田町435番地
特別養護老人ホームずずらの里
Tel 0965-39-7511
Fax 0965-39-7512
施設長 福田道子

日本一の長寿を目指す！

敬老会

朝夕涼しくなり過ごしやすいようになった9月11日(木)敬老会が行われました。

ずずらの里では、入所者67名(短期入所利用者含む)、デイサービス利用者116名、小規模多機能型居宅介護利用者22名の敬老会に、家族会や施設からそれぞれ記念品を贈呈し祝福しました。



福田理事長より記念品を受け取る中島さん

入所者代表の中島ミツ工さんが「私は102歳という年齢になりましたが、これからも体に気をつけ日本一の長寿を目指します」と元気に謝辞を述べられると会場からは、大きな歓声と温かい拍手が送られました。福田理事長も「中島さんと話すことができて大変うれしかったです」と感激されていました。

このほか式典に出席された皆さんは、記念品を受け取り笑顔を見せられ祝辞や祝電が披露されると涙を流しながら喜ばれる方もいらつしやいました。



余興の踊りを真似される岩本カツ子さん(77)

式典後は、職員による歌や踊り、地元プロレス団体によるショーが催され、会場は長寿を祝うおめでたい雰囲気になりました。介護職員 田川拓也

白熱！ 大盛況の運動会

9月25日(木)、運動会が開催されました。最初の競技はパン喰い



思わず手が出るパン喰い競争

競争です。戸惑いながらも吊るしてあるパンに駆け寄り口を大きく開けて必死にパンに食らいつと

方「口では難しい」とつい手を出し掴みとら

れる方もおられました。

紅白に分かれての玉入れ競争では大木交七さん

(88)は、始まる前から「赤組頑張るぞー」とチームを励ましておられました。スタートの合図と

共に玉が投げ込まれ、持ち玉がなくなると「はよ玉ばちようだい」と皆さん一生懸命に参加され白熱した戦いとなりました。

最後の競技は恒例となった職員によるチーム対抗アメ喰い競争です。粉の中にいった餡を探した

終了後はおやつを頂き運動会の話で盛り上がり思い出に残る運動会となりました。

介護職員 小川雄二

祝 ~10月の誕生者~

坂本 マツエ 様
(T 4.10.25 93歳)

中村 康雄 様
(T14.10.10 83歳)



真っ白な顔の職員を見て利用者の笑い声が絶えませんでした

したあとの顔は真っ白になり、餡をくわえた職員

栄養満点



秋のおやつにいかがですか！

～すずらんの里レシピ紹介～

朝、晩と肌寒くなってきました。もうすぐ食欲の秋の到来です。

今回は入所者に大変喜ばれるおやつ「さつまいもとりんごの甘煮」のレシピを紹介します。簡単に作ることができますので、ぜひお試しください。

さつまいもとりんごの甘煮

<食材>	<1人分>
さつまいも	45g
りんご	30g
干しぶどう	5g
水	適量
上白糖	小さじ2
塩	少々

<作り方>
さつまいも、りんごは皮をむき2～3cm角に切り、りんごは塩水に漬けて褐色を防ぐ。

鍋にと干しぶどうを入れ、ひたひたの水で煮て、沸騰してきたら砂糖、塩を加えさらに煮る。材料に火がとおり、味がついたら出来上がり。



砂糖・塩はお好みで加減してみてください。

この活動は、焼却処分されるペットボトルのキャップを集め、「再資源化」することで、二酸化炭素の発生抑制に寄与し、キャップの再資源化で得た売却益をもって「発達途上国の子どもたち」にワクチンを贈る」というものです。

この活動は、焼却処分されるペットボトルのキャップを集め、「再資源化」することで、二酸化炭素の発生抑制に寄与し、キャップの再資源化で得た売却益をもって「発達途上国の子どもたち」にワクチンを贈る」というものです。

ペットボトルのキャップ（フタ）で世界の子供たちにワクチンを贈るとい活動る皆さんはご存知ですか？

私は誰でしょう？



* 4～5歳頃の写真です

ヒント；私は、2階で働いている男性の介護職員です。

見た目は、たくましいですが内面はナイーブです。親しみやすい性格なので、皆さんにとっても可愛がってもらっています。

* 9月号の正解は、

日島久美子さんでした。



お願いします。

介護職員 大岩由梨



広報誌における写真や記事は個人情報保護法に基づき本人およびご家族の承諾のうえ掲載しています。